

コ 教区教化事業関係

1、2023年度 長浜教区 教化事業報告

(1) 教区教化委員会

① 教化本部 (企画室)

事業名	点検・報告事項	対象	会場	期日	講師
企画室	<p>【6回開催】</p> <p>1、組と教区の教化活動の連携について（循環する教化の具体化に資する協議）</p> <p>2、組教導に願われている趣旨と役割の確認と共有を行った。</p> <p>3、教区改編後の長浜の教化のあり方について</p> <p>4、教区同朋大会の企画立案</p>				
教化本部会	<p>【4回開催】</p> <p>各部署での取り組みの報告を通して、課題の共有と、諸事業にかかる協議検討をおこない、教区教化の推進を図った。教区改編に際して、別院教化推進委員会との懇談会を開催し、長浜教化センター設置に向けた協議検討を行った。</p>				
教化委員会	<p>【1回開催】</p> <p>テーマ「教区改編後の教化体制ならびに教化の方向性について」</p> <p>新教区準備委員会内に「教化推進本部調整協議会」を設置し、新たな教化体制ならびに教化方針と教化事業について協議検討をされてきた内容について、連絡報告の場として開催した。</p>				
教区同朋大会	<p>長浜教区での最後の同朋大会となったこの度の大会では「長浜教区のこれまでとこれから」をテーマに据え、長浜教区のこれまでの教化の取り組みの振り返る機会を得た。そして、両別院離脱問題を機縁として長浜の教化の歩みを省み、改めて真宗門徒としての原点を再確認するとともに、京都教区との新たな歩みを始める決起集会として開催された。</p>	<p>【参加者総数】</p> <p>424名</p> <p>寺 族</p> <p>門 徒</p> <p>一 般</p>	浅井文化ホール	2024/5/19	<p>美濃部俊裕 (教化本部長)</p> <p>秦 信映 (講座研修部門幹事)</p>
【備考】参加費：500円 <予：500,000 出：214,798>					
組教化推進協議会	<p>【第1回】「組門徒会研修にかかる現況と課題の報告と共有」をテーマに、次期「組門徒会研修スタッフの手引き」と「オリジナルテキスト」にかかる取り扱いの確認をするとともに、「組門徒会研修における組の実情」と題して班別ワークショップを行い、意見交換と交流の場を開いた。</p>	<p>組長</p> <p>組門徒会長</p> <p>組教導</p> <p>教化本部員</p> <p>(計49名)</p>	大谷会館講堂	2023/12/12	参加者29名
	<p>【第2回】「2024年度教区教化研修計画概要」(暫定版)の告知。組の教化研修計画に反映いただきたく新たな教化委員会体制について連絡の場を開いた。</p>	<p>組長</p> <p>組教導</p> <p>教化本部員</p> <p>(計35名)</p>	大谷会館講堂	2024/4/17	参加者26名
【備考】<予：90,000 出：47,620>					
組教導連絡協議会	<p>テーマ「育成員研修会を開催する意義とねらい」のもと、「聞法道場の回復」「仏法とご門徒を繋ぐ役割」等、育成員にかけられた事柄を確かめなおし、僧侶としての姿勢を省みるワークショップを行った。</p>	<p>組長</p> <p>組教導</p> <p>教化本部員</p> <p>(計35名)</p>	大谷会館講堂	2023/10/3	参加者27名
【備考】<予：40,000 出：21,480>					

② 教学教化部門

事業名	趣旨・内容	対象	会場	期日	参加者	発題者
育成員 研修会	テーマ「コロナ禍を縁として」 今回で3年目となる育成員対象の研修会として、改めて、育成員研修会を開催する意義とねらいについて、その原点を省みるとともに、僧侶としての姿勢を学ぶ場として開催した。 今回のテーマは「コロナ禍を縁として」のもと、コロナウイルス感染拡大に際して大きく変化した生活環境と仏事を通して、改めて、僧侶やお寺が担うべき役割と崩してはいけない大切なことを、世代別座談の形式をとり、皆でコロナ禍を乗り越えていくアクションプランを考えていくワークショップを行った。	有教師	五村別院 大広間	12/3	34名	永井 貴宗 (教区駐在教導) 新田 専信 (第22組 佛心寺)
			大谷会館 講堂	12/5	33名	堀澤 俊行 (第13組 念願寺)
教師陞補対象研修会 (第1種)				【備考】 <予: 60,000 出: 40,102>		
得度事前 学習会	得度受式者に向けた声明儀式作法の学習会を子どもと大人の班に分けて実施。最終日に得度考査を行った。	得度受式 予定者	大谷会館講堂	【説明会】 2/23	子ども3名 大人5名	准堂衆会 ほか
			旧教務所	【事前学習会】 3/26~28		
【備考】 参加費: 5,000円 (聴講料3,000円・考査受講料2,000円)				<予: 146,000 出: 143,975>		

③ 講座研修部門

事業名	点検・報告事項	対象	会場	期日	講師
組門徒会 研修会	会員最終年度の研修として「役員の自覚と実践」の願いのもと宗門の歴史や組織機構を学び、組門徒会員としての役割を確かめることを目的に実施した。また、新規の門徒会員に向けた『組門徒会研修テキスト』(教区オリジナルテキスト)を再編成した。	組門徒会員	各組	【第6回】	【講師】 京極 眞了 堀澤 俊行 春近 寛 別府 憲雄 佐藤 義成 中濱 顯文 小江 義美
				【第1回】	
【備考】 <予: 700,000 出: 700,000>					
組門徒会研修 講師会	組門徒会研修会での参加者からの質問や運営に関する問題点・課題について、講師から報告書を提出いただき、その報告書をもとに課題を部門委員で整理し協議を行った。 また、新任会員に向けて作成した新たな『組門徒会研修テキスト』の確認と共有を図った。	教区派遣 講師 部門委員	大谷会館 講堂	2023年 8/3・12/18	※2024年3月より 美濃部俊裕 藤本 有
				2024年 1/31・5/27	
【備考】 <予: 20,000 出: 17,180>					

事業名	点検・報告事項	対象	会場	期日	講師
同朋の会 推進講座	【2023年度】 第18組・第22組・敦賀組、各組ともにスタッフ会を設置し、推進員誕生の意義と育成員（スタッフ）と共に学ぶことを主眼に置き、趣旨と願いの確認と共有をし、具体的なカリキュラム策定にかかる協議検討を行い、前期教習が開催された。	第18組 【受講者】 37名	①～⑥ 湯田まちづくり センター	①3/2 ②3/23 ③4/13 ④5/11 ⑤5/25 ⑥6/15 後期教習：7/5～7	竹中 照真 (大垣教区 浄誓寺)
		第22組 【受講者】 26名	オリエンテーション: 観 ①相頓寺 ②要誓寺 ③空徳寺 ④びわまちづくり センター ⑤湖北まちづくり センター	オリエンテーション 3/23 ①4/20 ②5/18 ③6/15 ④7/20 ⑤9/7 後期教習：10/5～7	乾 文雄 (京都教区 正念寺)
		敦賀組 【受講者】 28名	オリエンテーション: 曇 ①無量寺 ②高德寺 ③唯願寺 ④眞願寺 ⑤隆法寺	オリエンテーション 3/16 ①4/6 ②4/21 ③5/5 ④5/25 ⑤6/15 後期教習：7/5～7	相馬 豊 (金沢教区 道因寺)
	【後期教習】 昨年度、前期教習を経て右記2カ組が同朋会館にて後期教習奉仕団として上山。新たなる推進員が誕生された。	第14組 【修者】12名	同朋会館	2023 10/7～9	牧野 豊丸 (福井教区 託願寺)
		第23組 【修者】18名		2023 9/2～4	西野健太郎 (第24組 充滿寺)
【備考】 <予：1,200,000 出：1,200,000>					
施設法話	教区内 12 介護施設における月例法話会への講師派遣。「施設担当者との懇談会」を実施予定。講師 2～4 名で構成する 4 班が、各施設を担当。なお、2023 年 4 月から各施設での法話会の開催回数を減らし、経費の一部（講師派遣 1 回につき 2 千円）を施設に負担をいただく。	【教区内施設】 12 施設	各施設	2023 年 4 月～ 施設の希望月に 開催	【施設法話講師】 有賀 尚子 七岡 朋子 河崎 顕祐 武田 晃威 達伊 優香 足利 弘樹 園 悦子 山田 孝夫 早寄 和典 森 清隆 古松 了祐 西野健太郎
【備考】 <予：275,000 出：195,000>					
施設法話 講師会	講師同士の連絡報告と課題共有を図るとともに、交流ならびに意見交換の場として開催する。また、部門委員と講師との協力体制のもと、本事業のより良き方向性を見出す場としていく。	施設法話 講師	大谷会館 講堂	2024/5/21	
【備考】 <予：22,000 出：10,900>					

④ 青少幼年部門 事業報告

事業名	趣旨・内容	対象	会場	期日	講師
花まつり子ども大会	<p>【テーマ】 「ハッピーバースデー 生まれてくれてありがとう」 コロナの影響により縮小されていた大会も今年度は、午前からおつとめや紙芝居（動画）を通して「花まつり」の意義を確かめることができた。なお、6年ぶりに市中行進を再開したり、数多くのレクリエーション企画に参加する子どもたちの姿が見受けられた。</p>	<p>【参加者】 子ども177名 おとな117名 スタッフ61名 (職員含む) 計355名</p>	長浜別院	<p>【スタッフ会議】 ①2/21 ②3/6 ③3/27 ④4/10 ⑤4/19 【事前準備】 ①4/29 ②5/2 【当日】 2024/5/3</p>	—
【備考】参加費：100円 <予：400,000 出：392,439>					
子ども報恩講	<p>【テーマ】 「ありがとう ごめんなさい なむあみだぶつ」 本堂内で企画を実施し、対面で開催できる喜びと子ども報恩講をお勤めする意義を確認することができた。</p>	<p>【参加者】 子ども66名 おとな41名 スタッフ22名 (職員含む) 計129名</p>	五村別院	<p>【スタッフ会議】 ①9/7 ②9/28 ③10/5 【事前準備】 10/13 【当日】 10/14</p>	—
【備考】参加費：無料 <予：100,000 出：61,131>					
日曜学校教化教材作成	各寺院の日曜学校で使用いただくための出席カードや、出席シール等を調製予定であったが、在庫調整に伴い、今年度の支出は無し。	日曜学校	—	—	—
【備考】 <予：30,000 出：0>					
組青少幼年教化担当者連絡協議会	<p>【テーマ】「青少幼年教化における願いと役割について」 今期新たな組の代表者との連絡協議の場として、組の青少幼年教化担当者に向けられた願いの伝達と共有の場として開催した。あわせて、ワールドカフェ形式によるワークショップを開催し「これから青少幼年教化でやってみたいこと」をテーマに据え、担当者同士で対話しながら、新たな計画を創造していく場を開くことができた。</p>	<p>部門委員 組青少年委員 【参加者】 14名</p>	大谷会館講堂	2023/9/2	—
【備考】 <予：20,000 出：11,680>					
青少幼年教化スタッフ研修会	<p>体験ワークショップ 「缶バッチ制作マシン取扱い講習会」 日曜学校や子ども会で、活用いただけるような缶バッチを制作の取り扱いについての講習を行った。あわせて、レクリエーションをミニゲームの体験を通して実践的な学びを行った。</p>	<p>部門委員 組青少年委員 ともスタッフ 一般 【参加者】 13名</p>	大谷会館講堂	2023/12/16	—
【備考】 <予：30,000 出：14,491>					

(2) 部落差別問題協議会

事業名	点検・報告事項	対象	会場	人数	期日	講師
月例 部落差別問題 学習会	(全12回原則第4金曜日) テキスト『部落問題学習資料集』(解放運動推進本部編集) 輪読と協議(座談)を中心に学習を行った。 【各回テーマ】 ①西光万吉の初期思想 ②～③「是旃陀羅」問題について ④～⑤ハンセン病問題について ⑥～⑧西光万吉の初期思想 ⑨～⑫同和審議会「具申書」	僧侶 門徒 一般	大谷会館 講堂	①15名 ②15名 ③14名 ④14名 ⑤14名 ⑥17名 ⑦休止 ⑧9名 ⑨13名 ⑩9名 ⑪16名 ⑫15名	①2023/7/21 ②2023/8/24 ③2023/9/29 ④2023/10/27 ⑤2023/11/24 ⑥2023/12/22 ⑦2024/1/25 ⑧2024/2/29 ⑨2024/3/22 ⑩2024/4/19 ⑪2024/5/24 ⑫2024/6/27	—
【備考】 <予: なし>						
部落差別問題 研修会	部落差別問題研修会① 「同関協」創立50周年研修会 【テーマ】 「同関協」の歩みと「是旃陀羅」問題 同関協の成り立ちや歴史、目指すところ などの講義を受け、さらに座談会も行 い、テーマについての学びを深めた。	僧侶 門徒 一般	大谷会館 講堂	21名	2023/12/4	片山 寛隆 (三重教区 相願寺)
	教師陞補対象研修会(第1種) 【備考】 <予: 40,000 出: 38,979>					
	部落差別問題研修会② 「部落差別問題に学ぶ研修会」 【テーマ】 「部落差別はなぜ今も残り続けるのか— 差別問題克服への展望—」 部落差別が生まれた要因や残り続ける 要因を構造的な面から学び、さら に他の差別問題との交差性について も学んだ。	僧侶 門徒 一般	大谷会館 講堂	26名	2024/4/10	谷元 昭信 (元部落解放同盟中 央執行書記次長)
	教師陞補対象研修会(第1種) 【備考】 <予: 110,000 出: 111,559>					
	「ハンセン病問題交流研修会」 入所者の方との交流(懇談会)を主な目 的として一泊二日の研修を行った。懇談 会のほか、各園でのフィールドワークや 講師による講義も行った。	僧侶 門徒 一般	邑久光明園 長島愛生園	21名	2024/3/6 ～7	中杉 隆法 (山陽教区 西林寺)
組部落差別問題 研修会	新規に作成した「開催趣旨文」をもとと した研修を各組にて実施するよう依頼し 研修会の場を持った。	僧侶 門徒 一般	各組	—	【事前】年1回 【研修】年1回	【講師】 京極 眞了 曾我 謙成 春近 寛 澤面 宣了 藤邊 匡文 雨森 慶為
【備考】 <予: 560,000 出: 560,000>						
組部落差別問題 講師会	常任委員と教区選定講師を対象に「講師 会」を開催。各講師より、各組の研修会 についての報告や課題の発表を行い、協 議した。本山解放運動推進本部より出さ れた『御同朋を生きる』と小冊子『是旃 陀羅問題について』を通して、教区独自 の小冊子『是旃陀羅問題とは?』の校正 にかかる協議が行われた。	組部落 差別問題 講師	大谷会館 講堂	①10名 ②12名 ③8名	①2023/10/26 ②2024/1/23 ③2024/3/11 ④2024/5/7	【備考】 <予: 12,000 出: 11,940>

事業名	点検・報告事項	対象	会場	人数	期日	講師
組部落差別問題担当者との連絡協議会	【総会①】 前年度の事業報告、新役員の選考、今年度の事業計画の連絡、組の部落差別問題担当者との情報交換や交流を行った。	部落差別問題協議会委員	大谷会館講堂	20名	2023/8/30	—
	【総会②】 長浜教区としての最終年度の総括を経、改編に伴い新体制「部落差別問題に学ぶ同朋協議会」と名称変更を行い、新体制で向かう協議会体制の確認を図り次年度に向けた確認と共有の場を開いた。	部落差別問題協議会委員	大谷会館講堂	20名	2024/4/30	—
	【全体協議会】 2024年度教区改編により、京都教区と共に歩むにあたり「部落差別問題に関する改編協議会」で協議検討されている現況にかかる進捗状況の報告を行った。全委員にてこれからの協議会体制ならびに、新体制に向けた事項の確認共有を図った。	部落差別問題協議会委員	大谷会館講堂	21名	2024/1/11	—
	【備考】 <予：22,000 出：16,080>					
解放運動推進本部との懇談会	「是旃陀羅」問題に関する学習冊子、スライドを使用した趣旨説明会 宗派での課題として取り組まれている「是旃陀羅」問題について、2023年5月に小冊子『是旃陀羅問題について』が発刊された。この学習冊子を基にして、各組まで学習会を展開すべく、本山解放運動推進本部より出向された本部員より趣旨説明にかかる場を開いた。	部落差別問題協議会委員 部落差別問題研修会講師 教区教化委員 組長 組門徒会長	大谷会館講堂	35名	2023/10/16	杉山 寧 (企画調整局参事) 中山 量純 (解放運動推進本部委員)

【参照】 共学研修院

事業名	趣旨・内容	対象	会場	期日	講師
共学研修院	【公開講座】 テーマ：本願 テキスト『歎異抄』をもとに、共学研修院生の講義として開催するとともに、有縁の人にも開かれた学びの場として開催する。 教師陞補対象研修会（第1種）	研修院生 一般	大谷会館講堂	2023/5/10	黒田 進 (第14組 満立寺)
	【ゼミ・法話演習】 2期目の初年度の演習が始まり、発表・座談にて学びを深めていく。 「法話実習」では、演習での学びの発表として、両別院夏中「暁天講座」で法話演習を行った。	研修院生	大谷会館講堂	月2回	【指導】 一色 孝 (第13組 光西寺) 澤面 宣了 (第16組 浄願寺)
	【宿泊研修会】 「自分史を語る」をテーマとして寝食を共にした交流を通して学びを深めることができた。	研修院生	大谷会館講堂 三谷旅館	2024/2/24 ～25	黒田 進 (第14組 満立寺)
	【研修院生】曾我朋子、三山 岳、増田和佳子、達伊優香、藤本 智、伊吹勇真、古松了真、藤森了英 教師陞補対象研修会（第2種）	【備考】 特別会計に移行			
暁天講座	長浜別院	7/2：川那部龍司、7/3：河崎 頭祐、7/4：蜂屋 良生、7/5：伊藤 真希			
	五村別院	8/5：神坂 恵行、8/6：禿子 慈孝、8/7：堀 匠、8/8：美濃部俊道			
【備考】 <予：75,000 出：73,264>					

2、2023年度 京都教区 教化事業報告

1. 教区教化委員会

事業名称・内容	対象・参加数	会場	期日
教化委員会「総会」 予算科目：1-10-1 教区教化委員会で行われた教化事業の報告並びに総括点検。また、教化本部で策定された次年度の教区教化研修計画概要、教化方針、各分会の教化事業計画（案）の承認の場として開催。	教区教化委員会委員 28名	教区会館	2024年 6月4日

2. 教化推進本部

事業名称・内容	対象・参加数	会場	期日
教区同朋会議 予算科目：1-10-1 黒田 進 氏（長浜教区教学研修院 院長）をお招きし、「教区教化とは」というテーマのもと、講義・班別座談等を行った。	教区教化推進本部員 地区教化委員長 専任輪番 49名	しんらん 交流館 大谷ホール	2024年 4月9日
教化推進本部会 予算科目：1-10-2 今年度の教区教化事業を点検・総括し、次年度の教化方針・事業内容の計画を行った。	教区教化推進本部員 39名	教区会館	2024年 5月21日
常任本部会 予算科目：1-10-2 教化推進本部の執行部として、分会間の共有、調整と事業について協議を行った。	教区教化推進本部 常任本部員 12名	教区会館	2023年 7月14日 9月19日 12月25日 2024年 2月21日 3月26日 5月17日
教化推進本部 新教区懇談会 予算科目：1-10-1 教化推進本部員で新教区発足に向けた教化全般に係る懇談会を実施した。	教区教化推進本部員 39名	教区会館	2023年 10月3日
京都教区 HP の運営 予算科目：1-10-1 広範囲な京都教区において、教区内で実施されている教化事業の情報をいち早く発信・受信する。 名称：「京都教区 HP」 URL：「 http://www.k-kyoku.net 」	教区教化推進本部 常任本部員 12名	教区会館	
地区教化委員長会 予算科目：1-10-2 地区の役割・教化事業について協議する。	-	-	教区改編に伴い 休止

3. 育成研修部会

事業名称・内容		対象・参加数	会場	期日	
第17期 伝道研修会 予算科目：1-1-1 真宗の教理を中心に研鑽すると共に現代に応える伝道の在り方を研修し、次世代の育成員を養成する。		—	—	教区改編に伴い 休止	
得度学習会 予算科目：1-1-2 得度の意義と真宗大谷派僧侶としての基本的な行儀を2日間にかけて習う。終了後、得度考査を実施。 ・「得度の意義」についての講義は、教区内有教師と青少年教化部会員に講師をお願いする。 【日程】 1日目：開会式・講義・声明習礼・装束作法 2日目：声明習礼・事務連絡・閉会式、得度考査		【14歳以上の講師】 講義：長嶋 明子 氏 儀式：松田 憶 氏 【14歳未満の講師】 講義：上寺 恵美 氏 儀式：泉 唯夫 氏 14歳以上：12名 14歳未満：20名	教区会館	2024年 3月25日 ～26日	
春夏期 教師検定試験準備学習会 予算科目：1-1-3 真宗学・仏教学・教化・声明作法・法規について、教師試験検定に向けた準備学習を行う。		—	—	教区改編に伴い 休止	
第4期 拾学舎 予算科目：1-10-4 真宗大谷派僧侶としての基礎的な「教学」と「声明作法」の学びの場。 ・「葬儀式」をテーマにし、「教学」と「声明作法」の学びを実践し、最終回に模擬葬儀を実施した。 日程 ：開会式・「教学の学び」（葬儀の意義・伽陀・勧衆偈）・班別攻究・「声明作法の学び」・閉会		【講師】 教学：竹橋 太 氏 儀式：松田 憶 氏 【参加者】 受講：13名 聴講：2名 委員：8名	教区会館 (Zoom)	2023年 ④12月23日 2024年 ⑤1月20日 ⑥2月17日	
地区聖典学習会 予算科目：7-1-2 地区事業への助成。					
地区	講師	内容	対象・参加者	会場	期日
山城	一樂 真 氏 (大谷大学学長)	大無量寿経講義	公開・一般 山城地区	ハートピア京都 4階 第5会議室	2023年 9月3日 12月2日
湖南	東館 紹見 氏 (大谷大学教授)	親鸞聖人伝に学ぶ	19名 19名 15名	赤野井別院	2024年2月13日 2月20日 3月5日
湖東	瓜生 崇 氏 (近江第8組 玄照寺 住職)	現代のカルト問題	湖東地区 寺族 14名	わたむぎホール虹 研修室	2024年2月28日
湖西	難波 教行 氏 (真宗大谷派 教学研究所 所員)	親鸞聖人の偈 『正信偈』に学ぶ	15名	今津東ミレニエター	2023年12月10日 2024年2月25日 3月23日、4月6日
若狭	—	—	—	—	—
丹但	武田 未来雄 (真宗大谷派 教学研究所員)	「親鸞一人」の自覚	14名	丹波第2組 延福寺	2024年6月30日
雲因	四衢 亮 氏 (岐阜高山教区 不遠寺 住職)	現代の聖典に学ぶ	寺族・門徒 21名	地区内寺院	2024年6月26日 ～27日
石見	梶原 敬一 氏 (姫路医療センター小児科医長 真宗大谷派僧侶)	入出二門偈	寺族・門徒 16名	石東組 明清寺	2024年5月16日

4. 共同教化部会 (仮称)

事業名称・内容	対象・参加数	会場	期日
組長・組門徒会長研修会 予算科目：1-2-1 共同教化について、組長・組門徒会長・部会員との意見交換を目的とする。	—	—	教区改編に伴い 休止

組門徒会員研修会 予算科目：1-2-1 **【助成事業】** テキスト：『真宗の教えと宗門の歩み』
 組門徒会員の使命と任務を確認し、基本姿勢の確立を願い実施する。
 ・教区教化基本方針に基づくカリキュラムによる研修開催を奨励する。(任期3カ年：6回)

組	講師	期日	組	講師	期日
山城第1組	山口 昭彦 (丹波第2組 圓正寺)	9/9 12/16 3/9 5/18	近江第11組	佐藤 義成 (長浜第18組 満徳寺) 禿 仁樹 (近江第11組 善教寺)	10/10 2/22
山城第2組	朽木 量 (山城第2組 常願寺) 武田 未来雄 (山城第2組 浄泉寺)	7/22 2/10	近江第25東組	組長	奇数月28日
山城第3組	棚野 明仁 (岡崎教区 本澄寺)	4/20	近江第25西組	渡邊 晃 (教区駐在教導)	3/24
山城第4組	赤松 崇麿 (教区駐在教導)	5/9 6/20	近江第26組	川那邊 章 (近江第26組 即得寺)	毎月
山城第5組	—	—	若狭第1組	堀尾 祐真 (若狭第1組 至徳寺) 真木 慈光 (若狭第1組 眞宗寺)	10/14 11/11
近江第1組	赤松 崇麿 (教区駐在教導)	3/14	若狭第2組	組長	3/3
近江第2組	組長	3/26	丹波第1組	渡邊 晃 (教区駐在教導)	10/18
近江第3組	渡邊 晃 (教区駐在教導)	3/18	丹波第2組	榎山 正樹 (名古屋教区 教西寺)	9/16
近江第4組	渡邊 晃 (教区駐在教導)	3/19	丹波第3組	渡邊 晃 (教区駐在教導)	1/26 6/20
近江第5組	組長	3/10	但馬組	組長	9/9
近江第6組	渡邊 晃 (教区駐在教導)	11/10 2/19	因伯組	一樂 眞 (大谷大学学長) 上場 直裕 (大阪教区駐在教導)	2/17 4/20
近江第7組	赤松 崇麿 (教区駐在教導)	4/16	出雲組	藤浪 遊 (石東組 浄慶寺)	9/28
近江第8組	竹中 慈祥 (長浜教区 眞廣寺)	3/10	石東組	組長・組門徒会長	6/22
近江第9組	加来 雄之 (親鸞仏教センター)	12/4	石西組	海 法龍 (同朋会館教導)	3/11-13
近江第10組	赤松 崇麿 (教区駐在教導)	6/2			

同朋の会推進講座 (旧：推進員養成講座) 予算科目：1-2-2 **【助成事業】**
 住職と共に、各寺を聞法道場として充実させるため、同朋会運動の担い手たる推進員を養成する。

組	講師
山城第2組	本多 雅人 氏 (東京教区 蓮光寺)
近江第2組	佐藤 義成 氏 (長浜教区 満徳寺)
近江第25西組	組内住職
近江第26組	佐藤 義成 氏 (長浜教区 満徳寺)
石西組	組内住職・渡邊 晃 氏 (教区駐在教導)
石東組	足利 栄子 氏 (九州教区 了徳寺) 安本 浩樹 氏 (山陽教区 専光寺) 宮武 真人 氏 (四国教区 光顯寺)

地区・組巡回懇談会 予算科目：1-2-2
 地区や組における教化の課題と展望について協議し、共同教化を模索する巡回懇談会。
 ・実施報告書：「ひこばえ」発行 (全寺院発送)
 日程：開会・趣旨説明 (主査)・組教化事業紹介 (組長)・自己紹介・座談・閉会

組	内容	対象・参加数	会場	期日
近江第1組	「教化の現場でおもうこと」をテーマとし、座談会を実施。	近江第1組教化委員会：8名	大津別院	2月19日
丹波第1組	前年度は、組内住職を対象とし、今年度は、組推進員研修会として開催した。	推進員役職者・正副組長：16名	満林寺	3月2日
石西組	組教化委員会を主体として、幅広い方々を対象に Zoom 併用で実施。	門徒5名、坊守3名、住職4名	専龍寺	3月6日

5. 青少幼年教化部会

事業名称・内容	対象・参加数	会場	期日
児童大会【第64回】 予算科目：1-3-2 「京都教区青少幼年教化研修会」【新設】開催のため、 休止	小学校3~6年生	真宗本廟 教区会館	休止

お寺の子ども会サポート 予算科目：1-3-1

子ども達が安心して遊べる場としてお寺を開放し、地域に開かれたお寺の子ども会の新規発足を
 目指す。また、初参り式や花まつり等の諸行事を各寺院の状況に沿った形で開催できるよう提案す
 る。

・公募したお寺の子ども会サポート寺院（2カ寺）にスタッフを派遣し、参加寺院との打ち合わせ
 を行い、花まつりや子ども会開催サポートを行う（サポート期間は、1期2年間）。下記寺院は、
 2019年度の対象であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、サポートを行えていなか
 ったため、本年度もサポートを継続した。

参加数	対象寺院	期日	日程
子ども：16名 大人：6名	近江第8組 安樂寺	2024年5月19日	花まつり（灌仏会・念珠作り・茶話会）
子ども：8名 大人：4名	出雲組 聞善寺	2024年5月19日	花まつり（灌仏会・組子細工コースター・茶話会）

京都教区青少幼年教化研修会【新設】 予算科目：1-3-1

【京都教区で60年以上大事にされてきた「児童大会」】及び【広域教区で相互の繋がりが生まれ
 ることを願い、2019年度より始まった「青少幼年教化各組代表者研修会」】を振り返り、新
 教区における青少幼年教化に繋がる内容で開催。青少幼年教化のより実践的な研修を行う。

講師	対象・参加数	会場	期日	日程
江馬 雅臣 氏 (岐阜高山教区 賢誓寺)	教区内の青少幼年教化 に関心のある方：16名 スタッフ：14名	教区会館	2023年 9月2日	開会式・講義・アイスブレイク・班別座談 事例紹介・全体座談・閉会式・親睦会

教区所属団体への助成事業

事業名称・内容	対象・参加数	会場	期日
春の子ども本山参り【教区児童教化連盟主催】 予算科目：1-3-3 子ども達と「遊び」を通しつつ、真宗本廟に参拝 する。	小学校1~6年生 参加数：34名 スタッフ：12名	真宗本廟	2024年 3月28日
親鸞ウォーク【教区仏教青年会主催】 予算科目：1-3-3 広く一般に公募して、宗祖親鸞聖人ゆかりのご旧 跡を歩いて巡り、真宗の教えにあう。	公開・一般 参加数：57名 スタッフ：9名	京都市内 (大谷相廟など)	2024年 4月19日

6. 出版部会

事業名称・内容

『教区だより』の編集・発行 予算科目：1-5-1

教区教化広報誌の編集・発行。毎月1回発行（7・8月：合併号）
・編集は、部会を2班に分けて交互に行う。

≪誌面構成≫

1面：「表紙」「ことば」「CONTENTS」
2面～6面：「連載」・「今、この時に、親鸞聖人に会う」・「特集」等
7面：「教務所からのお知らせ」「イマダカラ」「編集後記」等
8面：「教区行事予定」等

※「連載」内容：「真宗教団の中の女性たち」執筆者：見義 悦子 氏（富山教区）
期間：2022年12月～2023年12月号

※「今、この時に、親鸞聖人に会う」は、教区内外の方に執筆を依頼した。特に連載終了後、教区改編を見据え、長浜教区の教化役職者を中心に執筆いただいた。

※「特集」内容：教化推進本部及び同朋協議会並びに関連団体事業の報告・慶讃だより・出版部会員執筆記事。

※「慶讃だより」：各地区・組開催の慶讃法要お待ち受け大会を取り上げた。

※出版部会員執筆記事の内容は、「自主学習会」・「身近な仏教のことば」・「仏事をとおして聞く」。

教化伝道冊子刊行 予算科目：1-5-1

教区内研修会の講義録や『教区だより』連載を教化伝道冊子として刊行予定。
・過去の『教区だより』連載原稿をもとに『土着した親鸞』（大桑齊著）を刊行・無償頒布した。

事業名称・内容	対象・参加数	会場	期日
『教区だより』公開講演会 予算科目：1-5-1 連載「真宗教団の中の女性たち」の終了を前に、 執筆者である見義 悦子 氏の講演会を開催した。 【日程】 開会・講義・質疑・閉会	公開・一般 33名	教区会館	2023年 11月8日

7. 男女共同参画部会

事業名称・内容	対象・参加数	会場	期日
男女両性で形づくる教団を目指す研修会 (地区巡回研修：石見地区) 予算科目：1-10-3 男女両性で形づくる教団を目指すためには、私たちの中にある固定観念や社会にある性差別に気づくことが大切であるため、教区内8地区の巡回研修会を行っている。 ・日程：開会・講義・班別座談・まとめ講義・閉会 ・講師：金沢教区 常讚寺 副住職 藤場 芳子 氏 ・講師に事前学習を行っていただいたため、座談会でも活発に意見が出た。元女性室のスタッフである藤場氏の講義・「あいあうカルタ」・座談会という日程で研修会の趣旨に沿った流れが出来た。	石見地区 住職・坊守・門徒 役職者・一般 参加者：25名	石東組 浄慶寺 (浜田市長浜町)	1月13日
ジェンダーに関する研修会 予算科目：1-10-3 (ジェンダーやLGBTQについて学ぶ)	—	—	教区改編に伴い 未実施
男女両性で形づくる教団を目指すための懇談の場の開設 (女性の意見を聞く場) 予算科目：1-10-2	—	—	教区改編に伴い 未実施

8. 京都教区 部落差別問題に学ぶ同朋協議会 事業報告

事業名称・内容		対象・参加数	会場	期日	
総会	予算科目：1-4-3 2023年度の事業報告と新教区についての確認を行った。	協議会委員	教区会館	2024年 4月23日	
運営委員会	予算科目：1-4-3 教区改編を見据えて協議を行った。	両教区協議会委員	教区会館	2023年 9月5日	
協議会学習会【公開研修会】	予算科目：1-4-3 「親鸞聖人の教えに学ぶ、人間解放の道」のテーマのもと、差別問題に向き合い、学び、語り合うことを中心にして人の養成に努める。 講師：澤面 宣了 氏（長浜教区部落差別問題協議会会長） 鳶津 俊治 氏（同会副会長） 内容：「部落差別問題としての長浜教区としてこれまでの歩み」－教区改編にあたって－	部落差別問題に学ぶ同朋協議会委員 教区内一般 19名	教区会館	2024年 2月7日	
事業名称・内容					
広報活動	予算科目：1-4-3 広く教区内に教区協議会の設立趣旨と活動内容を知っていただくために、『教区だより』掲載記事の執筆を行った。				
地区同和研修会	予算科目：1-4-1 【地区事業への助成】各地区に自主的な学習の場が誕生することを願いとする。				
地区	講師	内容	対象・参加者	会場	期日
山城	吉田 佑樹 氏 (解放運動推進本部本部員)	部落差別問題に学ぶ	寺族・門徒	教区会館 2階 大講堂	2024年6月27日
湖南	阪本 仁 氏 (解放運動推進本部本部員)	近世における本願寺教団の部落差別の実態	一般	赤野井別院 大披露間	2024年5月13日
湖東	堀出 幸子 氏 (水平社博物館 伴スタッフ)	水平社創立の心と生命の躍動－水平社 創立者－の人物像	住職・寺族	ハーティセンター 秦荘	2024年2月28日
湖西	堀出 幸子 氏 (水平社博物館 伴スタッフ)	水平社発祥の地・御所市柏原と創立者たちの人物像	寺族・門徒	今津東コミュニティセンター	2024年6月2日
若狭	谷 祐真 氏 (近江第4組 真光寺住職)	寝た子を正しく起こすために	住職・総代 責役・推進員	若狭第2組 法順寺	2024年6月1日
丹但	—	映画「一人になる～医師小笠原登とハンセン病強制隔離政策～」の上映	寺族・門徒	丹波第2組 延福寺	2024年6月30日
雲因	長田 浩昭 氏 (丹波第3組 法傳寺 住職)	是旃陀羅問題から見えてきたこと	寺族・門徒	米子市 文化ホール	2024年5月16日
石見	前田 賢龍 氏 (石西組 専龍寺 住職)	部落差別とは－島崎藤村『破戒』から－	寺族・門徒	石西組 専龍寺	2024年6月26日 及び28日